

しゅうれんかい（修練会）からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2017年2月9日号（通算第18号）

子どもたちへ（小さなお子さんには読んであげてください）

あなたは、「今、何をしているときが楽しいですか？」、「今、何がしたいですか？」、「今、何ができるようになりたいですか？」、「将来何になりたいですか？」・・・と、聞かれたらどのように答えるでしょうか。

①できない事や苦手なことができるようにすることも大事です。

②自分がしたいこと、なりたいことに向かっていろいろすることもすてきです。

遊びでも、勉強でも、スポーツでも、ゲームでも、上の①②のどちらかでやってみてください。そうだ、今、得意なことをもっと得意にすることも大事ですね。



大人の皆様へ（パパ&ママ、ジジ&ババ）



最近、忙しいので、子供の話をじっくり聞いてあげないことが多いです。今日は夕食のときに、「あのことについて話してみよう」と思いつつ、つい小言が先に出てしまってその機会をなくすことも少なくありません。

昨晚は、子供が「ユニセフ募金のお金を頂戴！」と言うものだから、「今70歳以上の人は、子供の頃、ユニセフから食べ物を送ってもらって、育ったんだよ。戦争に負けて、日本中が貧乏で、食べるものがなかったんだよ。だから、今度は、日本が、世界の困っている人たちに役立つことをすることはとてもいいことだよ。」「でも、自分のおこずかいの中から出してあげたほうが、心がこもっているよ」と言って、母「はい、協力します。150円」、父「私は105円」、兄「僕は少ないけど、52円」、そして自分は100円で、たちまち407円集まって、学校へ持っていきました。

学校の先生がたへ

算数の授業研究の協議会で、「問題」と「目当て」の違いが話題になりました。そして、「問題」を出したら、「めあて」はあえて書かなくてもいいのではないかという意見もありました。

その話し合いの中では、問題「3.6Lのジュースを、3人で同じずつ分けます。1人何Lもらえますか」、求めることは「1人何Lもらえるか」で、分かっていることは「ぜんたいで3.6Lある」「3人で同じずつ分ける」と理解する。それで、答えを求めるためには、3.6Lを3等分するから、式は $3.6 \div 3$ になります。

ところが、 $3.6 \div 3$ のような小数を整数でわる計算の仕方は学習していない。そこで、まず、 $3.6 \div 3$ の計算の仕方を考える必要があるので、めあては「 $3.6 \div 3$ の計算の仕方を考えましょう」となります。算数の授業ではこのように「問題」を解くために、当面の「ねらい」を解決する二重構造になる場合があります。

もちろん、問題の解き方を考えることが、めあてになることは当然ありますから、あえて「めあて」を書かなくていい場合もあります。と、落ち着きました。ご意見がありましたらどうぞ。

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」や「至楽荘」の利用の仕方、「成美教育文化会館」の会場貸出など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。



